

## 医療安全管理部

【教育】	
1. 到達目標	全ての医療領域において医療を提供する際の基本要件として、医療安全・患者安全の意識と実行が必要であることを認識する。
2. 現状説明	講義、実習を通して知識の吸収を図る。
3. 点検・評価	教育を受けた学生からの意見を評価する。
4. 目標・改善方策の達成度	現在、教育体制を検討している段階である。
【研究】	
1. 到達目標	病院において行われている医療安全対策の効果を評価し、問題点を抽出、改善策を形成する。
2. 現状説明	データ収集、分析、これまでの安全対策の効果判定、評価を行っている。
3. 点検・評価	インシデント、医療事故数の減少、患者への影響による重症度の減少で評価する。
4. 目標・改善方策の達成度	学会発表、論文作成を行なっている。
【診療】	
1. 到達目標	直接診療に関わらないものの、病院全体の診療における医療過誤の発生を防ぐ。
2. 現状説明	日常診療におけるインシデント・アクシデントの周知、情報共有。
3. 点検・評価	患者への影響度が高い医療事故、医療過誤を減少させる。
4. 目標・改善方策の達成度	現時点では医療事故の重症度が減少したとは言えない。
【社会貢献】	
1. 到達目標	医療安全に関する活動の存在について、他病院や社会組織への周知を図る。
2. 現状説明	他病院、医療関係者への医療事故対策の提言や、講演会による意識向上に参加している。
3. 点検・評価	医療安全に対する考え方の拡散は、評価できる可能性がある。
4. 目標・改善方策の達成度	今後の更なる活動が必要である。

医療安全管理部

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
1. 論文 (1)原著	査読有	佐竹寛史, 本間龍介, 丸山真博, 長沼靖, 渋谷純一郎, 仁藤敏哉, 菅原正登, 土屋登嗣, 橋本淳一, 高木理彰	* 手内筋に筋萎縮を生じた腕神経叢神経鞘腫は核出術によって麻痺が改善するか	末梢神経 33(1):130-135, 2022.			
2. 学会報告 (2)国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	橋本淳一	医療安全特別セミナー「日常診療における注意点～医療安全の観点から～」	第49回日本股関節学会学術集会 山形; 2022年10月			
2. 学会報告 (2)国内学会	iii 一般演題	長谷川和美, 布川真記, 小林武史, 武田聡子, 橋本淳一	院内におけるPDA (personal digital assistants) 認証の実施状況	第17回医療の質・安全学会学術集会 神戸 ;2022年11月			
2. 学会報告 (4)研究会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	橋本淳一	医療者と患者の係り 医療安全からの視点	日本医師会 専門医共通講習会 山形; 2023年2月			
2. 学会報告 (5)その他		橋本淳一	医療安全という考え方	医療安全セミナー 山形;2022年6月			
2. 学会報告 (5)その他		橋本淳一	座長：一般演題9 手術合併症	第30回日本腰痛学会 岩手; 2022年10月			